

4人の活動に栄誉

今後の研究成果に期待 鷹鷲テル賞 優秀女性大学院生に 岩手大

鷹鷲テル賞 優秀女性大学院生に 岩手大

岩手大優秀女性大学院生学長表彰「鷹鷲テル賞」第3回表彰式、記念展示オリビュンクが11日、同大学で行われた。最優秀賞、優秀賞受賞者4人が出席。小川智学長から賞状を受け取った。

「鷹鷲テル賞」は優 彰するもの。鷹鷲テル賞の研究活動を行う女 は岩手大初の女性助教性大学院生を学長が表 授となった研究者で、



鷹鷲テル賞受賞者ら(前列中4人)



岩手大図書館での記念展示

2021年度から「岩 課程3年。標題「大豆手大優秀女性大学院生 品種の低カリウムおよび低リン耐性のメカニズム」を発表した。最優秀賞は連合農学 研究科生物生産科学専攻(山形大所属)のタ 王卓琳さん(博士課程2年)は「魚肉タンパク質の生化学特性の構築とその有効活用」総合科学研究科農学専攻のハン・ユジョンさん(修士課程2年)は「タンパク質膜挿入反応に関与する糖脂質MPIaseの構造・機能分析」同科地域創生専攻の金優奈さん(修士課程1年)は「引張接合部を用いたH形鋼接合部の構造緒元の合理化に関する研究」で、それぞれ表彰された。

小川学長は「1次は書面審査で、審査員が個別に審査。2次審査はブレゼン評価として研究したことをしゃべってもらうディスカッションを行って最終的な結果につながった。今後の研究成果にも大きな期待ができる人たちを選ばせていただけた」と受賞者をたたえた。優秀賞を受賞したハンさん(25)は「実験に時間をいっぱいかけたのに、結果があまり良くない時が結構あった。そのまま進めただけで、うがいがかゆんだ。足りないところもいろいろあったが、優秀賞をもらうことができたい。博士課程に行って研究を進め、もっと良い実績を作るために努力したい」と意気込んだ。同図書館では記念展示として「阿部トシヨと鷹鷲テルー岩手の戦後民主主義と女性岩手大ゆかりの女性先駆者たち」を実施している。11月3日まで。入場無料。